

## 日 薬 定 例 記 者 会 見 要 旨

日 時：令和7年7月25日（金）16：00～17：00

場 所：日本薬剤師会 第一会議室

出席者：岩月会長、原口副会長、上野専務理事

### 内容・提出資料：

#### 1. 「地域医薬品提供体制強化のためのアクションリスト」の策定並びに地域医薬品提供体制構築・強化に係る取組について（重要）

（令和7年7月11日 日薬業発第120号）

岩月会長より、掲題の件について説明された。主な内容は以下の通り。

本会では、これまで各薬局の個々の努力あるいは薬剤師会組織による会員相互扶助の観点で取り組んできた医薬品・薬剤師サービス提供を「地域体制」の観点から再点検・再構築すべく、「地域医薬品提供体制強化のためのアクションリスト」を策定し、都道府県薬剤師会・地域薬剤師会に向けて周知した。

全国の薬剤師・薬局と一致協力して、地域の薬剤師会、薬局の現状の再確認、課題となるであろう医療資源の少ない地域、山間へき地、島しょ部などの医薬品提供体制強化に取り組んでいく。課題解決にあたっては、地域の薬剤師会が行政と連携しながら、また関係団体と情報共有しながら進めていくことになる。昨日の都道府県会長協議会において、都道府県薬剤師会会長にご説明し、進捗状況の共有、意見交換などを行ったところである。

#### 2. 令和7年度日本薬剤師会賞、同功労賞の授賞について

（令和7年7月18日 日薬業発第122号）

岩月会長より、掲題の件について説明された。主な内容は以下の通り。

7月15日に行われた本会選考委員会の慎重審議の結果、日本薬剤師会賞8名、同功労賞6名の授賞が決定した。表彰式は、第58回日本薬剤師会学術大会（京都大会）開会式と併せて執り行う予定である。

#### 3. 令和6年能登半島地震活動報告書の作成について

（令和7年7月24日 日薬総発第8号）

上野専務理事より、掲題の件について説明された。主な内容は以下の通り。

令和6年1月の能登半島地震での対応における特徴的なこととして、本会として初めて現地の対策本部を設置したこと、頻度高く、モバイルファーマシー（MP）の出動要請を行い、積極的に活用されたことの2点である。対策本部は、石川県薬剤師会と支援薬剤師の宿泊拠点の2か所に設置した。支援薬剤師の役割は多岐に亘り、調剤・服薬指導・情報提供にとどまらず、一般用医薬品の供給、健康相談や避難所の環境管理・衛生管理も行った。本会のスキームでは、各都道府県を通じ、延べ2,395名の支援薬剤師が活動、全13台のMPに出動いただいた。

支援活動の最終目的は、被災地域の医療体制を災害医療から災害前の平時の保険医療に戻すことであり、今回見えてきた様々な課題や問題点を、今後、災害に見舞われた場

合に対応を検討するための基礎的資料となるよう、活動報告書としてまとめたものである。

主な質疑応答は以下のとおり。

〈「地域医薬品提供体制強化のためのアクションリスト」について〉

記者：都道府県におけるアクションリストの達成状況は今後どのように確認していくか。また、いつまでに達成するなど時期の目標はあるか。

上野専務理事：まずは、皆でできるところからやっっていこうということで始まった。適宜、情報共有をしながら進めていきたい。厚労省の予算事業「薬局機能高度化推進事業」の活用も視野に入れながら、できるだけ速やかにとお願いしている。

〈モバイルファーマシー（MP）の活動指針〉

記者：令和6年能登半島地震活動報告書に記載のある、MPの活動指針はいつ頃の公表を予定しているか。

上野専務理事：近くお示しする予定。災害発生時に円滑に運用できるように、平時からの体制整備なども含め、運用に関する方向性についてまとめた内容になる。

次回の定例記者会見は、令和7年8月6日（水）12：00～を予定。